

その手には乗りません！

振り込め詐欺

から身を守る「心得12力条」



イラスト：MDR

年々巧妙化する振り込め詐欺。その手口をおさらいし、被害から身を守る対策を知つておきましょう。

振り込め詐欺とは

振り込め詐欺とは、特殊詐欺の一つです。面識のない不特定の相手に對して、電話その他の通信手段を用い、預貯金口座への振り込みその他の方法により、現金などをだまし取るのです。

オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺などに分類で

きますが、時代に合わせて次々と新しい手口が生まれ、犯行に歯止めがかかるない状態です。

年を取るほど

「自分は大丈夫！」と思いがち

2017年3月内閣府発表の「特殊

詐欺に関する世論調査」によれば「自

分は被害に遭わないと思う」（どちらかといえばを含む）が約8割を占めました。

高齢になるほど被害に遭わないという意識が高く、被害防止対策を行わない傾向が見て取れます。

被害を防止するため、家族も協力し

振り込め詐欺の主な手口

て高齢者を守る対策を立てることが大切です。特に一人暮らしや夫婦二人暮らしの高齢者の子や孫世代に当たる方は、自分から親や祖父母と頻繁に連絡を取るなどして、予防に努めましょう。

あらためて振り込め詐欺の主な手口をおさらいしつつ、詐欺の被害に遭わないための心得を解説します。詐欺によくあるキーワードも紹介します。このキーワードが出てきたら要注意。すぐ警察に相談しましょう。

3 直接現金を取りにくる

「携帯電話の番号が変わった」と電話がかかってきたら、振り込め詐欺の可能性があることを考えながら、慎重に会話することが大切。必ず元の番号に電話をしてみてください。

現金の振り込みを要求せず、「同僚（上司）が取りにいく」「バイク便業者に向かわせる」などと言つて、

被害を防止するため、家族も協力し

1 親族になります

息子など親族になりますし「会社の金を使い込んだ」「浮気をして相手を妊娠させた」「交通事故の示談金を払わなければならない」「借金の返済に追われている」「株に手を出して失敗した」などと心配させ、今すぐお金が必要だという話を切り出します。家族を心配する気持ちに付け込んだ悪質な手口です。

2 捜査関係者になります

被害者に電話をかけ「●●警察署刑事課（または生活安全課など）の▲▲という者です」「銀行協会の者です。詐欺事件の関係で警察と協力しています」などと、警察官などになりますし「あなたの口座が詐欺事件に使われている」「あなたの息子が交通事故を起こした（痴漢をした）」「お金が下るせなくなる」と驚かせて、不安な気持ちになるように仕向け、すぐにお金を下ろさせたり、振り込ませるようになし立てます。キャッシュカードをだまし取り、預貯金を引き出すケースもあります。

オレオレ詐欺

心得4

警察官・銀行協会職員だけでなく、他人には絶対にキャッシュカードなどの暗証番号を教えてはいけません。また警察官らが暗証番号を聞くことはありません。

心得3

警察や銀行協会などの官公庁や団体から電話があった場合、**言われた電話番号を信じることなく**、電話帳や電話番号案内（104）などで調べる習慣を付けましょう。

心得2

普段から家族と連絡を取り合い、特殊詐欺の対策について話し合ったり、**合言葉を決めたりしておくと**、電話がかかってきたときに落ち着いて受け応えできます。

心得1

「携帯電話の番号が変わった」と電話がかかってきたら、振り込め詐欺の可能性があることを考えながら、慎重に会話することが大切。**必ず元の番号に電話をしてみてください。**